夕刊
磐城新聞
一月二十二日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾五錢
發行所 磐城新聞社
(日曜祭日翌日休刊)
振替東京一〇八〇五五六五番

天氣豫報 小名濱測候所發表
今晩も明日も北西の風晴

磐城のシンメイサマ研究（四）

磐城民俗研究會 高木誠一

○然し仙臺地方に來て桃生郡、登米郡等には竹で造つたのがみられ。陸中東磐井郡狮川村邊のオシラボトケは竹である。又岩手縣瀧澤村附近には岩手山噴火の時の杉樹で造つたと言ふのがあり。當地方のも確かに桑の木ではない。

オシラサマの着けるものを岩手、青森地方ではセンタクと言ひ、方一尺程の布で中央に穴を明けて頭を通してゐるのは當地方のによく似てゐるが、年に一度主に正月十六日に巫女が遊ばせる時に着せるのみである出羽庄内地方の衣服は紙を細くたゝんだもので大体アイヌのイナオの或る種、或は內地の削掛けの一種を思はせるものがある。されば喜田貞吉博士は(東北文化研究昭和四年九月。オシラ神の形態に關する臆說)紙を切つて作つた幣束即ち御幣を神に捧げるものと同一の動機から起つたものではないかと思はせると言つてゐる

○オシラサマの遊ばせのは盲目の巫女で主に正月十六日であるが、その時唱ひるオシラ祭文と言ふくどきがある、これにはマンノフ長者物語、シンマン長者物語、キンマン長者物語の類種があり馬と娘の戀物語を述べてゐる。その大要は昔或る處に長者があり、姬君が十六の時飼つてゐた馬に戀した、長者は怒つて馬を桑の木に吊して殺した、姬君は死んだ馬の首にすがつて泣き悲しんだ。それを見た長者はそれを忌んで馬の首を切り落したら姬君はその首にのつて昇天した。オシラサマはこの時出來た神様で、馬をつり下げた桑の枝でつくると言ふのである。シンメイサマにも神明詞があるが物語り的ではなく、ネフスキーの來だ折みつけたものはおひら祭文として既に發表され、これに就て折口信夫博士は或る時代に上方地方で稍々完全な形に成立した簡單な戲曲が人形遊びの條件として行はれた事が祭せられ、おひら樣の前世の物語で本地物語と言ふべきものが隨伴してゐると述べてをられる。

○オシラの語原に就いても未だ定說はない。折口博士はオヒラでヒナ即ちその轉訛であらうと言はれるし、他に加賀の白山神社の巫女が神体を呪術に用ひて東北に傳へたものでそのオシラであらうと言ふ說、アイヌの神で守神のシラッキカムイの轉訛說、鉉の神で白三(おしら)錙を舍利として尊敬した俗信から來てゐるとの說、おしつせ神であると言ふ說等種々ある。

小名濱所見

よしだ

○かもめ飛び群れてなく寂さればかり　濱の日暮の悲しみそゝる
○あ人け鰯と網の縮きたる　日向に向きて網つくろへる
○築港の波おだやけき岸近く　かも浮き沈み冬を越すらし
○白砂は冷たけれども日向なれば　濱の娘の頰朱々し
○二羽くぐり一羽は遂に飛びたてり　かもゐる海に石投ぐる人

雪中客福島

珠雲 小野務平

鄕貫常盤未見氷
佛城硯凍筆遊凝
雪山重畏寒何堪
阡陌皚々白作層

1月23日
△英哲學者ベーコン生る(一、七八八)△幕府勝安房を陸軍總裁となす(明治元)

1月24日
△秀忠薨ず(寛永九)京阪間に郵便設置(明治四)△命點を有す×隕石米國にて發見(一、八九二)佛內閣成立(昭和一一)

講談 髑髏組（どくろぐみ）

(96) 林杢兵衛作　金子士郎畫

二つの謎（十二）

「兄弟、與ッ直ぐに濱屋へ繰込まうぜ」

「おつとよし」

聞き馴れた言葉の調子。

怨籠屋は勘太と小六である。

矢の倉の、勘小ロ怨籠に居候をきめ込んだ島宗刑部はどうしたか?。

霜月、師走い空ッ風、辟易して外へ出ないのか?いやさうぢやない。まだ耳の底にこびついてゐる御用の聲。御用風に當つては危險と云ふので、龜のやうに毎月、すッ被つた布團から首だけ出して、する事もない退屈しのぎの酒が友だ。つい目と鼻の先に、腕ききの岡ッ引、矢の倉茂十の住家はあるが、いつの間に伏められたのか、勘太と小六が御用を御勤めに毎日の出入だが、まだ、黑猫お蛯の噂一つ聞かないのは、刑部にとつて薄氣味惡い。

時々――訊いて見たい!――と思はぬではないが、藪蛇になるのを怖れて、今日まで其の儘に暮して來た。勘太と小六は、自分が今お尋ね者であることを知つてゐるだらうか、こうして毎日家にばかり居るのを、二人は何んと思つてゐるのか。一度よく話し合つて見なければならない)そんな事を頭の中で考へてゐる時、勘太と小六が歸つて來た。

「おや、旦那はけふも家でしたか?」

うむ、退屈してゐた。其方達も今日は大分ゆつくりだつたなう」

「へえ、ちつとばかし忙しかつたもんですから……」

ところで旦那、さう家にばかり居ちやア毒ですぜ」

「うむ、拙者もさう思ひながら、つい面倒で外へ出る氣もしないのだ。今夜あたりは一廻り歩いて來やうと思つてゐる」

と、醫者から一人おいて隣りの易者が、これも勿體らしく首を捻つて、相方藝者の手相を觀てゐる。

「近いうちに落籍されるな?」

「まア嬉しい、本當なの?先生!」

「本當だとも、詳しく知りたかつたら南岳堂まで來るがいゝ、見料は特別に安くしておくから……」

「おほゝゝゝお上手ねえ先生は、遊んでる間も御商賣よ、本當に拔目がないわ」

「いやこれは痛い」

わざとらしく、大衆に頭を掻く易者、これが、けい眼の黃房の源七か、只の鼠ぢやない――と睨んだ例の南岳堂衆白だ、とに角變つた客種である。

折から此の如月の玄關先へ。威勢よく横付けされた怨籠が一丁

「お客樣……」

先觸の怨籠屋の聲に、四五人の女中が出迎へた。

靜かに怨籠から下り立つたのは立派な武士だ。少し眼に癖があるのか、どことなく一癖ありさうに思はれる。それと額の刀疵だ。

「入らつしやいませ」

「皆樣がお待兼で御座います」

既に馴染と見える女中達の言葉を、武士は聽き流して怨籠から降りて振り返ると、

「御苦勞、いつもの時刻に迎へに來て呉れ」

「承知致しやした」

怨籠屋は、合點して棒鼻を返した。

「それ酒手だ」

武士は手近な一人に幾何かを摑ませると、そのまゝ女中に案内されて奥へ去つた。

「お有難う存じやす」

掌に置かれた金を見合つて嬉しさうに二人は怨籠を搖り上げた。

旅舍 大東舘
東京上野驛前 下谷郵便局横通角
電話下谷國六七七番
私は平市出身ですから特に鄕里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人 比佐棟雄

產婦人科 外科 藥局
院長 木村寅次郎
醫學博士 內木宗八
藥劑師 大岩俊雄
入院隨意 病室完備
平市新川町十九番地
木村病院 電話一六四番

恐るべき惡疫防止に
安全、確實な內服ワクチンを
おすゝめ致します
三共製チフス內服ワクチン
大人(一人分)二〇セン　小兒(二人分)
―十五歲以上の方から大人の量です―
三共株式會社製品總代理店
西村屋藥局
平市本町二丁目 電話三番

晝夜診療
外科一般 內臟外科
レントゲン科 泌尿器科
北川外科
〔血液檢査毎日〕平市新川町〔電四六四〕
イツデモ入院デキマス。
醫學博士 北川芳夫
技師 三浦常保

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します。
福好工業合資會社
代表者 強口唯七郎
自動車部 電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します。

男女工員募集
東北一の大工場
從業人員四千餘名
製品、人絹、ソーダ、二流化炭素晒粉、過燐酸
昭和人絹錦工場
男十六才……三十才まで
女十三才……二十五才まで
御入社御希望者は御申込下さい
詳細御通知、又は參上面談
石城郡錦村大倉
鈴木林

皮膚科 泌尿器科 性病科 專門
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町
江尻醫院 電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎
入院隨意

公債、株式、賣買
一般証券業務
平市三町目 電話一七七番
友部株式店
助川町天王町 電話六九番
大子町榮町 電話二九番
營業所 水戶市泉町二丁目 電話二四〇一・六〇番
給仕募集
御望みの方は委細面談

ニッポン・魚は凍魚
日本水產特約
平製氷會社 電三八・三六番
鯛 甘鯛
エビ マナ鰹
白魚 帆立貝
ワカサギ ウニ貝燒
ヒノマル凍魚
陸揚 四丁目
トップ印 魚問屋 電五二八番
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。

平市二丁目
あまこ自動車商會
電話六四〇番

整形外科專門
X光線科
平市揺鎚小路
大河內醫院
電話五八八番

日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社石油特約店
福島縣平市支店一丁目(電話六十一番)
關彰商店平支店
本店 茨城縣下館町 電話五五、三三九番
支店 茨城縣土浦町田宿 電話六五三番
茨城縣久慈町 電話一三七番
茨城縣多賀郡關本驛前 (電大津一四七番)
福島縣四倉驛前 (電平潟五四番)
福島縣小名濱町 電話四八番
油槽所(常磐線泉驛前)
海岸給油所(大津港、平潟港、江名濱)
ガソリン給油所(土浦町新國道日本石油給油所 電話八二四番)

耳鼻咽喉科專門
平市南町一六番地
大和田醫院 電一七〇番
(入院隨意 病室完備)

和洋 建具 家具 テーブル 椅子
其他裝飾品一般……
御用命は迅速に御勞め致します。
諸官衙 各學校 御用達
製作販賣
平市五丁目四
片寄製作店
片寄小彌太 電話四八四番
十五、六歲以上の見習徒弟募集
御希望の方は至急申込下さい。

チフス豫防第一
恐ろしいチフス菌も
三共製內服ワクチン(大人用二十錢 小人用二人分)服んで安心
皆樣御用意ありますか。若しなかつたら今スグ四十四番へ御電話下さい早速御屆け致します
(但し當平市內だけ)
平市古鍛冶町一〇(縣社の下)
阿康藥局

女の有權者も交つて
今年は所得調査委員選擧
期間中の申告を怠るな

昨十二年は春の總選擧から、引續き、次々と町村會議員選擧が行はれ中には市制第一次の平市會選擧の如き豪華版すらあり、終始その方面のファンを喜ばせたが今年は之れが滅切り種切れで張り合ひ無き事夥しく、僅かに九月か十月頃平税務署管內の所得調査委員選擧がある丈けである。即ち現委員

岡田千藏、野崎滿藏、多田井笑次郎、吉村安次郎、大平睦四郎、安島久、鈴木喜太郎

の諸氏は來る五月の委員會を最終として任期滿了となり、之に代る新委員が擧げられるのであるが右に大体第三種所得納税者千六百人營業收益税千三百五十七人中來る三月十五日迄に所得或は收益の申告をなして納税者を有權者（有夫の婦を除く外成年の女も選擧權がある）として執行さるゝもので、期間內所定の申告を怠る時は當に老幼控除の恩典に洩るゝ許りか、右選擧に就ても貴き一票の行使が出來なくなるので彼此今年の所得申告は例年より非常に多數に上るものと豫想されてゐる

慰問講演會
今夕第三講堂で

東日主催從軍並に慰問講演會は今廿二日午後六時から平第三小學校講堂で開催するが講師は東日從軍記者根上柏實兩角部隊本社慰問使松本則榮の兩氏で盛會を豫想されてゐる

郡下酒造業指導
竹內縣商工技師巡回

今秋縣下聯合清酒品評會の開催計畫によつて大に熱度を昂げて居る石城の釀造界では過般高屋税務署長の引率に係る釀友會員十餘名一行の先進地視察見學に引續き斯道に造詣深い縣商工技師竹內直衛氏により

二十一日小名濱、江名、豐間、高久　二十六日內郷、植田方面　二十三日平市、平窪

の日割で巡回指導中で釀造上各般の刷新改善は遠からず相當の反映を見するものと期待されてゐる

酒母麴鑑評會　石城杜氏組合では今二十二日平税務署樓上に於て總會開催、豫、決算、役員改選を行つた上午後から酒母麴鑑評會を催し了つて竹內縣商工技師の酒造講話あると

送炭量增加
中旬分對比統計

今月初旬分の第一報から發送高增加に明けた今年の常磐炭界は去る十日以降二十日迄の分も僅か乍ら依然增加の歩調を辿つた

營業用五、三六三車六一四二八廻、省用一、六一〇車二一、四〇五廻、合計六、九七三車八二、八三三廻

前年同期に比し

營業用四六五車八〇六廻增、鐵道用一〇車增四八一廻減、合計四七五車三二五廻增

上中旬を通算すると千四百三十一車一萬二百三十七廻の增となつてゐる

警備委員 視察

平市の警備委員一行七名は左記日割で視察、新豫算に關し資料を蒐集する

一月二十四日午前市川、二十四日午後船橋、二十五日午前熊谷

初詣の團体募集

平驛では日下國威宣揚祈願初詣團体（成田不動尊、川崎大師）四百名を募集してゐる、期日は來月十日（舊正月十二日）同驛午前八時三十分發、十二日午後六時三十分著の豫定費用は概算七圓五十二錢（汽車賃四圓三二錢四割引、其他三圓二十錢）行程左の如し

（第一日）車中にて中食午後一時半成田著、電車にて宗吾靈堂に至り參詣後成田町附近見物の後宿泊

（第二日）早朝起床不動尊にて國威宣揚並戰捷祈願朝護摩修行し終つて旅館にて朝食を濟まし成田を出發し川崎著後自動車にて大師參詣午後二時頃川崎出發歸路

求人口殺到す
求職者の約三倍近
紹介所昨年の統計

景氣好轉

平職業紹介所昨年中の取扱成績が纏つた、これによると（括弧內前年）

△求人男二、七六六名、女五〇七名計三、二七三名（男二、一二五名、女二六六名計二、三九一名）

△求職男九四三名、女二六五名計一、二〇八名（男九八九名、女二六九計計一、二七八名）

△就職男七六三名、女二〇一名、計九六四名（男五二四名、女一九〇名計七一四名）

もつともこれには見習工の如き他紹介所よりの連絡斡旋の分は含まれてゐないので取扱實數はこれ以上に上つてゐるわけだ、昨年扱ひの求人數は前年に比べて八百八十二名の增、最も多いのは工業（職工）礦業（炭坑々夫）の二千百三十名（うち男一、七四一名）で水産業（漁夫）の四百九十二名（女一名）がこれに次ぎ、求職數は前年對比七十名減やはり工、礦業の六百九十七名（男五六八名）が筆頭でお次が雜業の二百六十三名（男一六二名）である、數年前までは求人口に較べて求職者がズーッと多かつたものだが最近ではこれと反比例、昨年中の如きも前記の如く求人數が求職者の約三倍に上つたのは景氣好轉がもたらした現象と云はれやう。なほ同所が昨年中扱つた日傭勞働者は全部で四萬三千三百九十四名で前年の四萬八千五百七十五名に較べて五千百八十三名の減これは鎌田山開鑿並に平神橋其他夏井川改修の市內地區完了によるもの

はかない榮華の夢！
偽裝成金横山の正體
被害者呆然 十萬圓の株券詐欺

市內仲間町株式債券仲買業横山久（三六）が昨年中結婚披露として見も知らぬ知名の士その他多數を土地一流の旗亭に招待し一大豪華版的宴會を催したり、大金八百圓を遺失して名妓に拾はれたりした人の羨む而も曰くありげな成金トピックは當時の新聞記事などで今尙は地方人の記憶新たなものゝあるが意外や當の本人は廿一日午後五時原の町署に檢擧取調中である—右は一昨年頃通り一帶に亘り手廣く債券株式の定期現物賣買を行つてゐるうち追敷に困り鈴木武雄（四五）を支店長として原の町にも出張所を置き約一萬五千餘圓の保證金及び債券を預りこれを勝手に追敷に流用したもので被害高は平方面に於ても長橋町佐川今朝太郎氏の約一萬圓を筆頭に約十萬圓と云はれ身柄は平署に引渡される模様であり元縣警察署長某の紹介で加入した被害者もあるらしい尙は同人が開業の動機は曾て茨城縣下館署に鐵道從業員として勤務中の同僚未亡人の爲退職賜金受領し更に平市に來てから某より利用した千五百圓を資金とし今日に至つた物で被害者は今更呆然自失の態

彼は小學校時代から奇才に富み數學等は得意であつた

入遠野村國婦銃後運動

入遠野村國防婦人會では昨年十一月慰問品第一回分七十個を北支へ送つたが今回その第二回分百三十六個を送つた

陣中を聽く (70)
困苦缺乏を忍んで
看護婦諸姉の活動
市內南町出身 大森勇氏（通信）

出發の際は御芳情に預り有り難うございました。今回は珍藥澤山御惠與に預り厚く御禮申上げます。

—〇〇船で一番困るのは船暈です。冬になると季節風と〇〇海〇〇海は荒れます、船は木の葉の如く動搖します、棚の上の品物はドタンガダンと落下します。何かにつかまらなくては歩けません。そつちでもこつちでも嘔吐が始まります。斷くして二日間も絶食同樣のものがあります。看護婦諸姉はそんな船暈に苦しみ乍らも戰傷者の看護の手は休めないのです。

私共の陸に居た時の考は船に乗つたらどんなに樂しからうかと思ひましたが船に乗つて見ると第一に狹苦しいので困ります。船よひに苦しみます、運動不足の結果もあるでせうが食慾が減退してみんな身体が瘦せて來ます、上陸して疊の上に横になると人間は矢つ張り陸上動物だと思ひます。あなた方と同職の救護看護婦諸姉は斯様な困苦欠乏を忍びつつ御國に御奉公致してゐるのです。或る看護婦の川柳に

元旦や尿器持つのも國の爲め

ぞ。看護婦諸姉によろしく

仙鑛局支所設置
新年度から平か湯本へ

仙台鑛山監督局は石炭增産計畫に伴ふ災害防止、指導監督、勞働力補充のため女子就業許可を決したが、四月平市或は湯本町に仙鑛局支所を設置、技師（高等官）一名、技手一名を常置する筈であると

結婚披露費を献金

市內三丁目太丸屋こと大津賀善吉氏長男幸平さんは高久村箱崎半五右衛門氏の娘喜榮さんと結婚したが披露式を節約三十圓を國防費として平署に寄託

會計殿逐電
平署に搜索願

相馬郡日立木村柚木字前日向農齊藤直記（四〇）は去る昭和九、十兩年の冷害凶作に祟られて生活苦に陷り同人があづかつてゐた同村消防組の會計簿もそのまゝに十年十二月十日夜一家を擧げて何れかへ行方を晦ましたが最近內郷村方面にゐるとの噂さが出たので關係者の同村遂田木幡良知氏から平署に搜索願

鮮魚樽製造
自給自足を目指し 中の作で廿萬樽

江名町中の作漁港において一ヶ年に使用する鮮魚樽は六萬樽を超え更に江名漁港の使用分を合すれば十萬樽に達するがこれが全部は當業者より購入してゐるので中ノ作實行組合では樽の自給自足を計劃新春から一ヶ年二十萬樽を目標に製造に着手した、實費による供給は漁業家へ相當の福音がもたらされる譯で關係各方面から少からず喜ばれてゐる

。。。漁夫行方不明。。。　豊間村原町漁夫鈴木要一さん（四二）は十九日午後三時頃江名町加澤一造氏の第三萬勢丸に乗り双葉郡小出濱沖合で漁撈中激浪にさらはれ行方不明

聚樂館東寶常設契約

地方の劇場として古き歷史を有する市內聚樂館は今回東寶映畫社との間に海岸線一帶の權利を獲得、最初の試みとして來る二十九日より五日間「良人の貞操」「エノケンのどんぐり頓兵衞」を上映すると

新披露目

樂家から「慈香」が出現、大に馬力をかける意氣込みとある

。。。炭礦事故。。。

二十一日午後四時頃好間村北好間堂一八號日曹小田炭礦坑夫半島生れ朴春德（三二）は石炭つみ込み作業中貨車に兩足を切斷され間もなく死亡又二十一日午前十一時好間村北好間字樅現堂隅田川炭礦採炭夫手塚半三郎（三〇）は坑內作業中落磐死

小谷防疫官補來平
平市のチフスまた二名

續出する平市のチフス豫防確立の爲厚生省豫防局防疫官補小谷新太郎氏は昨二十一日來平、平細菌檢査所香川技師と連絡豫防策を講じてゐる。患者は其後南町佐藤美秋（三〇）塗匠小路坪山米吉（三八）の兩名が眞症と判つて隔離これで合計三十名（うち三名死亡）の患者を出した、現在隔離病舍にはチフス二十七名、猩紅熱二名合計二十九名の患者がゐる

親愛なる兵隊さん
いたいけな慰問袋發送

滿支皇軍慰問のため平市が國防婦人會を通じて募集した慰問袋は既報の如く全部で九百卅五個、今二十二日市役所から發送されたが[illegible]の慰問袋には『國防線に活躍する親愛なる吾らが勇士殿』として心こめた慰問袋差出人の慰問文や、可憐な小學兒の成績品が同封され戰塵にまみれ奮闘を續けてゐる兵隊さん達もさぞ喜ぶだらうと云はれてゐる

賣つた稻田を刈る

下小川村上平字赤沼農松本忠一（五三）は昨年九月十五日自己所有の稻田三反歩を上小川村大小屋田久小次郎に九十九圓で賣り渡したに拘らず取り入れした籾八斗入れ二十一俵を他に賣却、一家をあげてどこへか行方を晦ましたので屆け出により目下平署で同人の行方を搜査中

尙同人は昨年春他人の水田を自分のものだと偽つて其筋に訴へられ、起訴猶豫中のもの

好間の火事

好間村北好間字離日曹小田炭礦會社販賣部より二十二日午前二時十分頃發火、同棟全燒倉庫半燒、三時鎭火、損害二千圓、原因調査中

暦判定總本部　東京市本鄉區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠館

舊十二月廿二日　日曜　乙卯　先負　滿　昴宿　新一月二十三日

▲一白 剌々に勢ひ付きて來る日入學名ひろめ等もつとも吉▼二黑 跡から跡からと福の舞ひ來る日開店もつとも吉▼三碧 意の如くならざる日行違なき樣注意すべし▼四綠 いき高ぶりて過誤を招き易し和合第一の日▼五黃 自然と活氣付き來り思はず彼岸に達する日▼六白 小利にあくせくせず永遠の大計を立つるに吉き日▼七赤 自負心を生ずるときは德望事業共に失ついす▼八白 順氣發展し行く日婚約企業開店何れも大吉▲九紫 活動力の減退し易き日持久心を養成すべし

舊十二月廿三日　月曜　丙辰　佛滅　平　畢宿　新一月二十四日

▼一白 逸まんとして逸まず相談事は後日にすべし▼二黑 平運にて安心にゆるみなく働くべき日▼三碧 人の言を誤り聞きて意外失敗を招くべし▼四綠 今日の地位に安んずるがもつとも安全のさくなり▼五黃 內輪もめさくなければ自から發展し行くべし▼六白 事を始むるに吉き日但し急ぐ事はつゝしむべし▼七赤 次第に廣平なる運にめぐまるゝ日勤儉が第一▼八白 約束事は當にならぬ日後日にゆづるが安全▼九紫 あせる心をおさへ冷靜事にあたらざれば背となる

電話譲受度し

平市二丁目（警察通）古山ラヂオ店

二十三日（小名濱潮汐潮時表）
滿潮 前八、五〇 後一〇、二五
干潮 前二、一五 後三、五五

二十四日
滿潮 前九、三〇 後一一、一〇
干潮 前二、四五 後五、〇五

平市田町

高久病院（電話五三一番）

內科　醫學士 高久忠
外科　新潟醫學士 赤羽清
小兒科
花柳病科　藥劑士 佐竹菊雄
耳鼻咽喉科

（看護婦至急募集）

御得意樣への御禮に！

パーマネントウエーブは

今や：世界的流行であります

お値段（四圓…全部 三圓…普通）（弊院パーマネント部の一部）

◆時間の經濟・能率增進
◆時代の要求するパーマネント
◆今が絶好のチヤンス

現狀維持では……時代に取殘されませう！

銃後を守る御婦人方への大サービスに

最新の美容法を研究し その奥義を修得致して參りました。

御婚禮御氣付　和洋結髪　オゾン美顏術　美術顏　白赤毛染

水野化粧院

水野冬子
平市驛前 電六七八番
自宅 電五二五番

昭和十三年度入學生募集人員

本科（修業年限二ケ年）五〇名
技藝科（修業年限一ケ年）五〇名
專攻科（修業年限一ケ年）二〇名
各科二年補欠入學生 若干名

課外教授

本校生徒ハ希望ニ依リ左記科目ノ習得ガ出來マス

タイプライター　將來職業婦人タラントスルモノ
琴、生花　家庭婦人トシテノ準備
ピアノ　音樂研究ヲ志スモノ
洋裁　洋服裁縫ヲ研究セントスルモノ

「タイプライター」修得者ハ本校ニ於テ就職ヲ斡旋致シマス

平市[illegible]小路二十番地

文部大臣認可

平陽女學校

電話 四四五番
振替口座仙臺五六八二番